

脳疾患研究用の神経細胞株

技術情報

- ・脳疾患モデル神経細胞株の製造方法およびその用途
- ・特開2006-254814
- ・出願者：福岡県

ココがすごい！

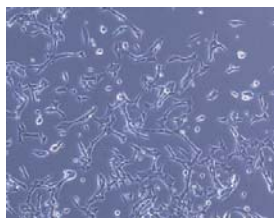


脳卒中などの病気で起こる神経細胞死を培養容器内で起こすことができる神経細胞

技術概要

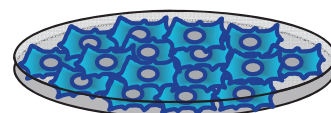
脳卒中、痴呆症、アルツハイマーなどの脳の病気は、神経細胞が死んでしまう病気です。その原因は、興奮性の神経伝達物質であるグルタミン酸のコントロールが壊れて、高い濃度のグルタミン酸が神経細胞と作用し続けることによるものです。

従来は実験動物を用いた試験でしたが、今回、新たにマウスから神経細胞株を獲得して、これまで難しかった培養容器内でも高い濃度のグルタミン酸によって神経細胞に細胞死を起こすことができるようになりました。この神経細胞は組織性幹細胞の仲間であり、均一な評価と簡便な操作性、多品目の試験を行うことが可能です。



神経細胞

独自の培養技術により獲得した。



- ・均一な評価法
- ・簡便な操作性
- ・多品目の試験

【応用例・活用分野 等】

- ・脳疾患治療研究や機能性因子探索のための神経細胞の活用
- ・生活習慣病の予防・治療のための神経細胞の活用

【企業へのメッセージ】

- ・本発明の神経細胞に興味のある企業、さらに詳しいことが知りたい方は、是非ご連絡下さい。

連絡先

機関名：福岡県工業技術センター生物食品研究所

所在地：福岡県久留米市合川町1465-5

担当部署：生物資源課

電話番号：0942-30-6644

FAX：0942-30-7244

E-mail: kkusumoto@fitc.pref.fukuoka.jp HP: <http://www.fitc.pref.fukuoka.jp/>